

水道料金の改定について

説明会資料

- 1900 通水開始
- 1985 皆水道の達成
- 1995 震災 → 災害に強い水道づくりを
- 2024

蛇口からいつでも水が飲める水道システムを

次の世代に継承する

2100

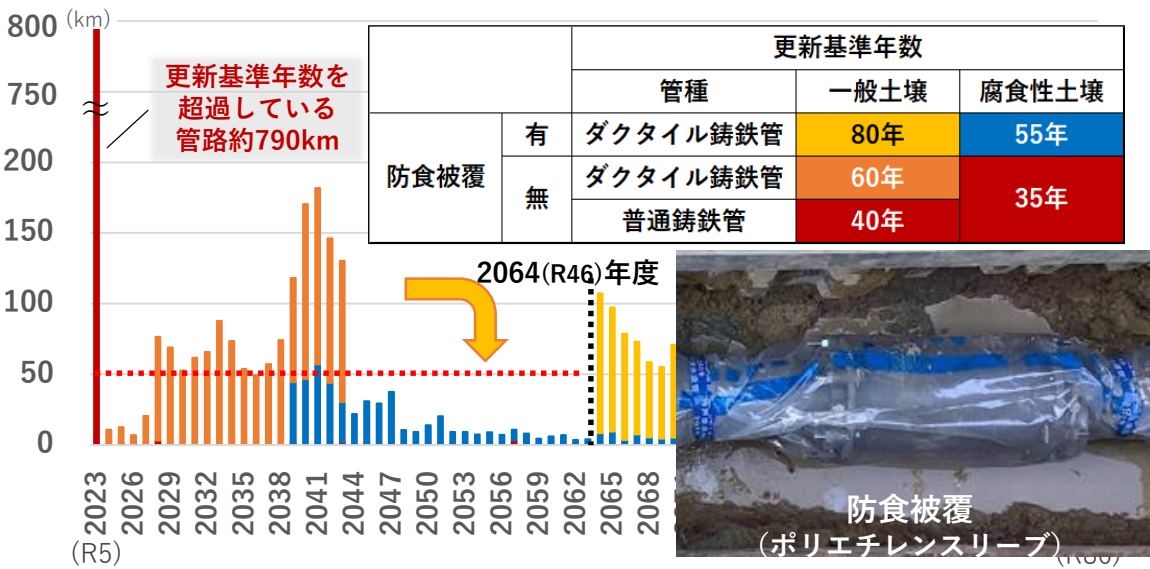
神戸市水道局

- 水道事業の現状と課題、今後の経営見通し
- 料金改定の概要
- 新料金の計算例
- 今後について
- 質疑応答

本市の事故事例（R5.1 昭和35年布設の水道管漏水）



更新基準年数ごとの配水管延長



- ・ 水道施設は、**高度経済成長期につくられたものが多く、今後、多くが老朽化による更新時期**を迎えます。
- ・ 老朽化施設が増えると、**漏水等の事故が現在よりも増加したり、災害時に大きな被害及び復旧に時間を要する恐れ**があります。
- ・ 増大する更新需要に対して、計画的に施設を更新していく必要があり、**物価が高騰するなか資金確保が課題**となっています。

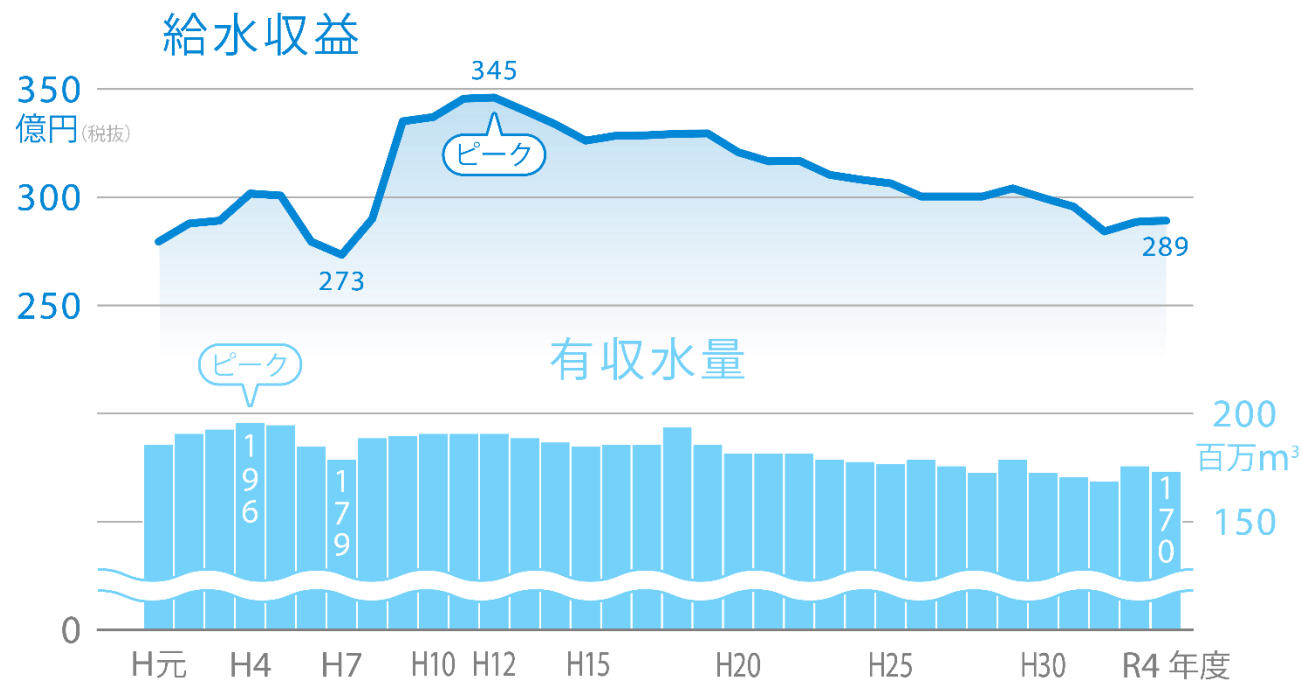
配水管更新のペースアップ

(現在)40km/年 → (目標)50km相当/年 : 更新率1.0%

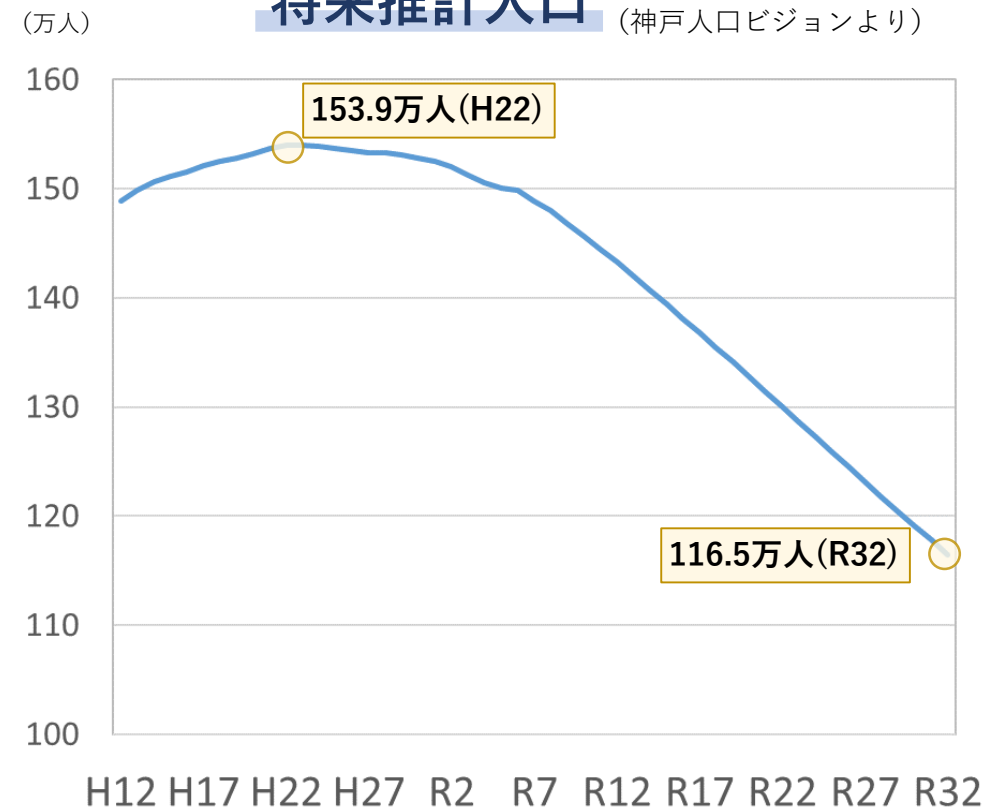
建設改良費の見込み

(現在)約150億円 → (計画)約220億円/年 : R6～17

給水収益の推移



将来推計人口 (神戸人口ビジョンより)



- ・ 水需要および給水収益は、人口減少や節水型社会の進展により、毎年、減少しています。
- ・ 人口は、今後も減少していく見込みです。

給水収益が毎年約 2 億円減収する見込みです

これまでの経営改善

人件費・物件費の推移

(H12) 約 179 億円 ▶ (R4) 約 95 億円：20年前と比べ**約85億円減**

職員数の推移

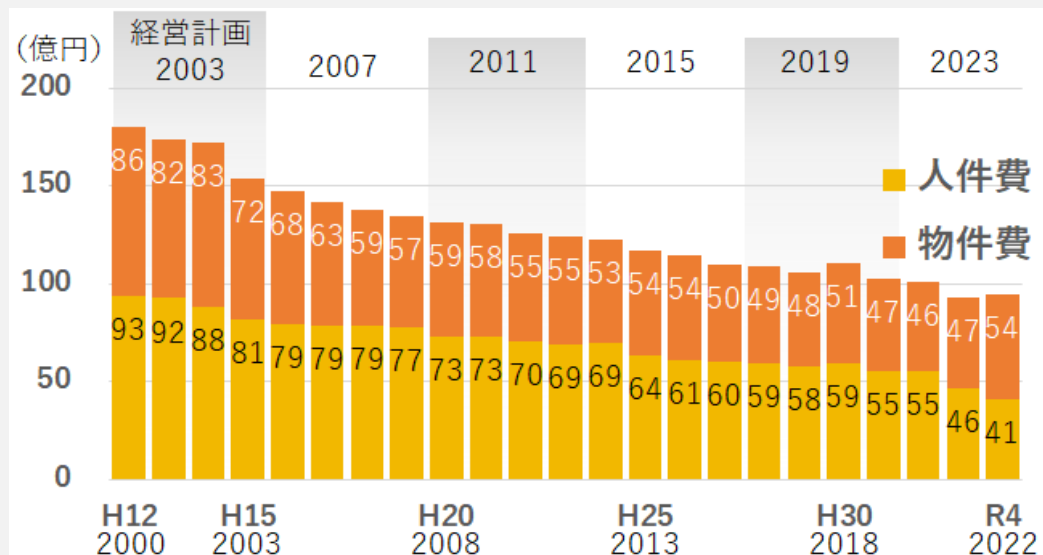
(H12) 956 人 ▶ (R4) 510 人：20年前と比べ**約450人減**

施設の統廃合・ダウンサイジング

配水池：20年前と比べ**約9施設減**（現在127箇所）

ポンプ：20年前と比べ**約27台減**（現在236台）

配水管：5年間で更新した管路の**約7～8割ダウンサイジング**



財源確保の取り組み

国の補助金など活用

H12年～R4年(約20年間)：約120億円



送水幹線の再整備（鋼管挿入）



公園地下への大規模貯水槽の設置
（災害時でも一定期間の応急給水が可能）



水道施設の耐震補強工事



水道施設

水道施設の土砂災害対策

遊休資産の売却、貸付

H12年～R4年(約20年間)：約80億円

工事費・維持管理費増

施設の老朽化

災害対策

物価高騰

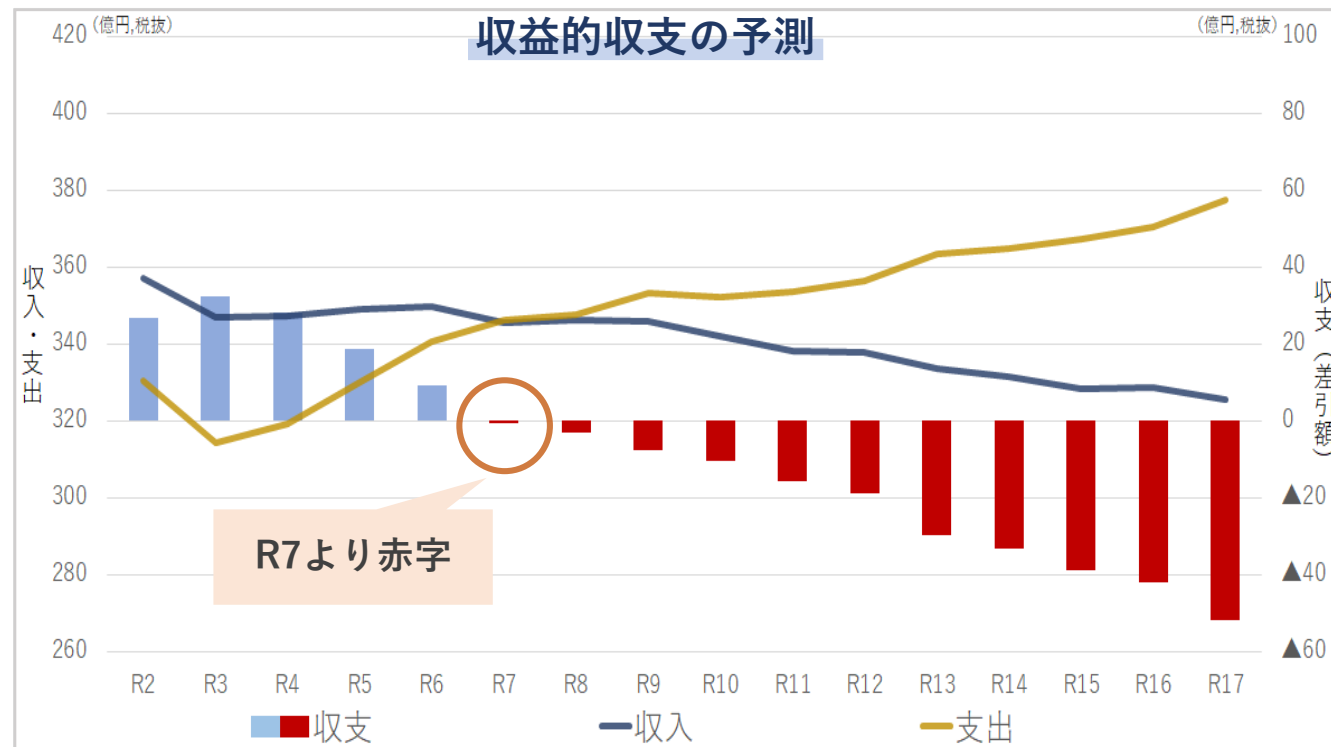
水の使用量減

人口減少

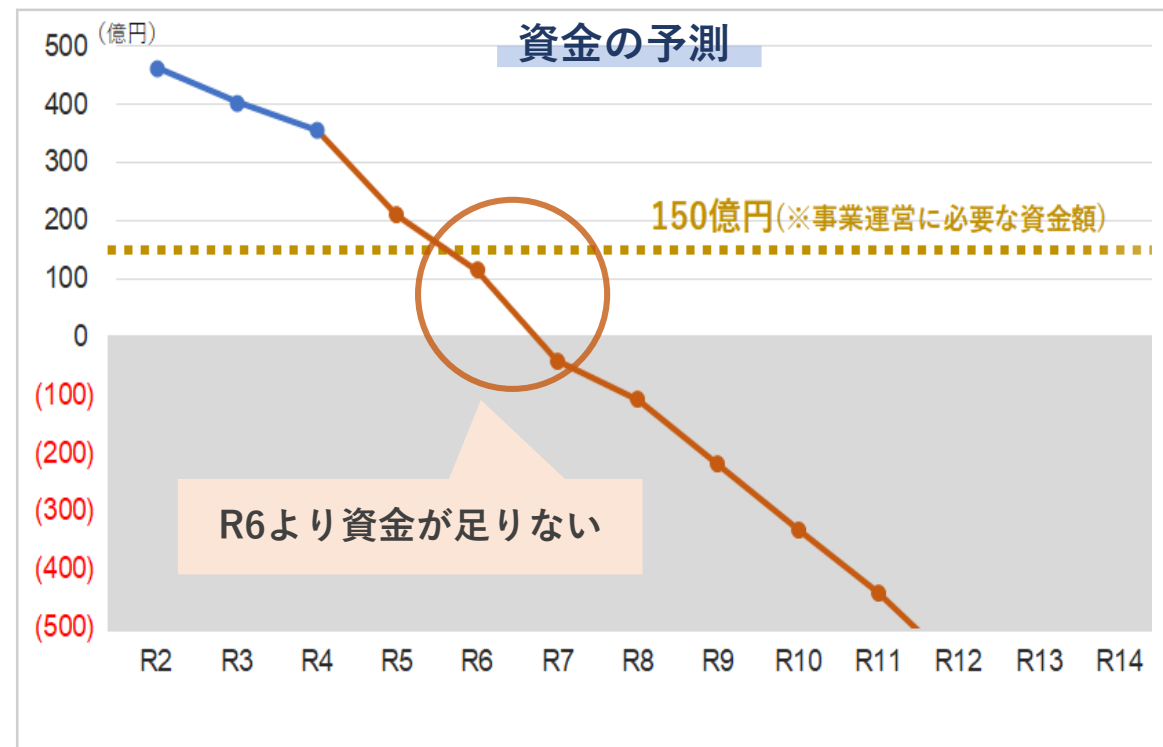
節水型社会の進展

今後の経営見通しは・・・

収益的収支の予測



資金の予測



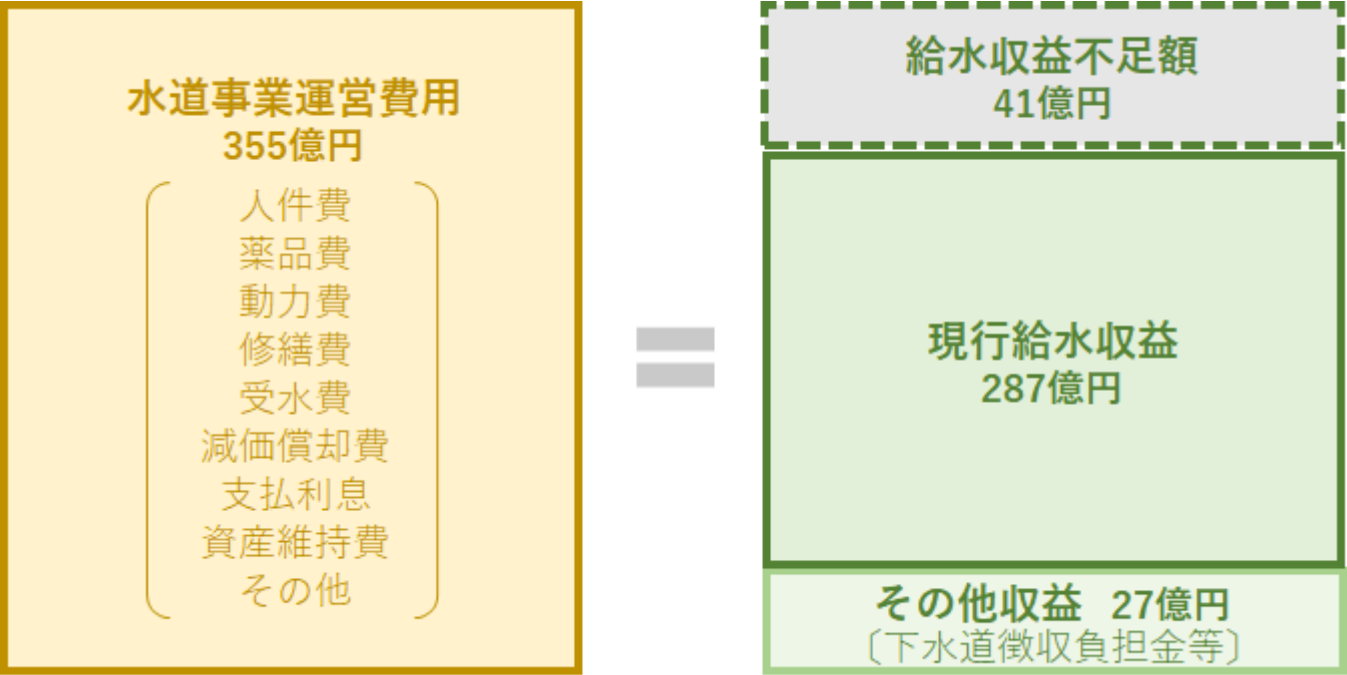
これからも安定して水をお届けするためには、多額の施設更新費用が必要です。
経営改善での努力ではカバーしきれず、企業債を発行します。
それでも費用が不足するため、27年間据え置いた水道料金を改定します。

改定の主な内容

- ▶ 2024年12月検針分から新料金になります
- ▶ 現在の料金から平均で約14%増額になります ※下水道使用料は変わりません
- ▶ 基本料金のみで利用できる水量を月10m³から5m³に引き下げます

給水収益	・ 1年間あたり <u>約41億円</u> 増（287億円 → 328億円） [令和6年度： <u>約13億円</u> 増（※4カ月分）]
料金体系	・ 水量区分の新設 [一般用・業務用の使用水量区分を統一] ⇒ 一般用に「31～60m ³ 」の区分、業務用に「～20m ³ 」の区分を設定 ・ 基本料金の増 [水道メーター口径に応じて増] ⇒ 例：口径20mm 1カ月80円の増（880円 → 960円） ・ 従量料金の増 [使用水量区分ごとに10～35円/m ³ の増]

収益不足額のイメージ（1年当たり）



その他

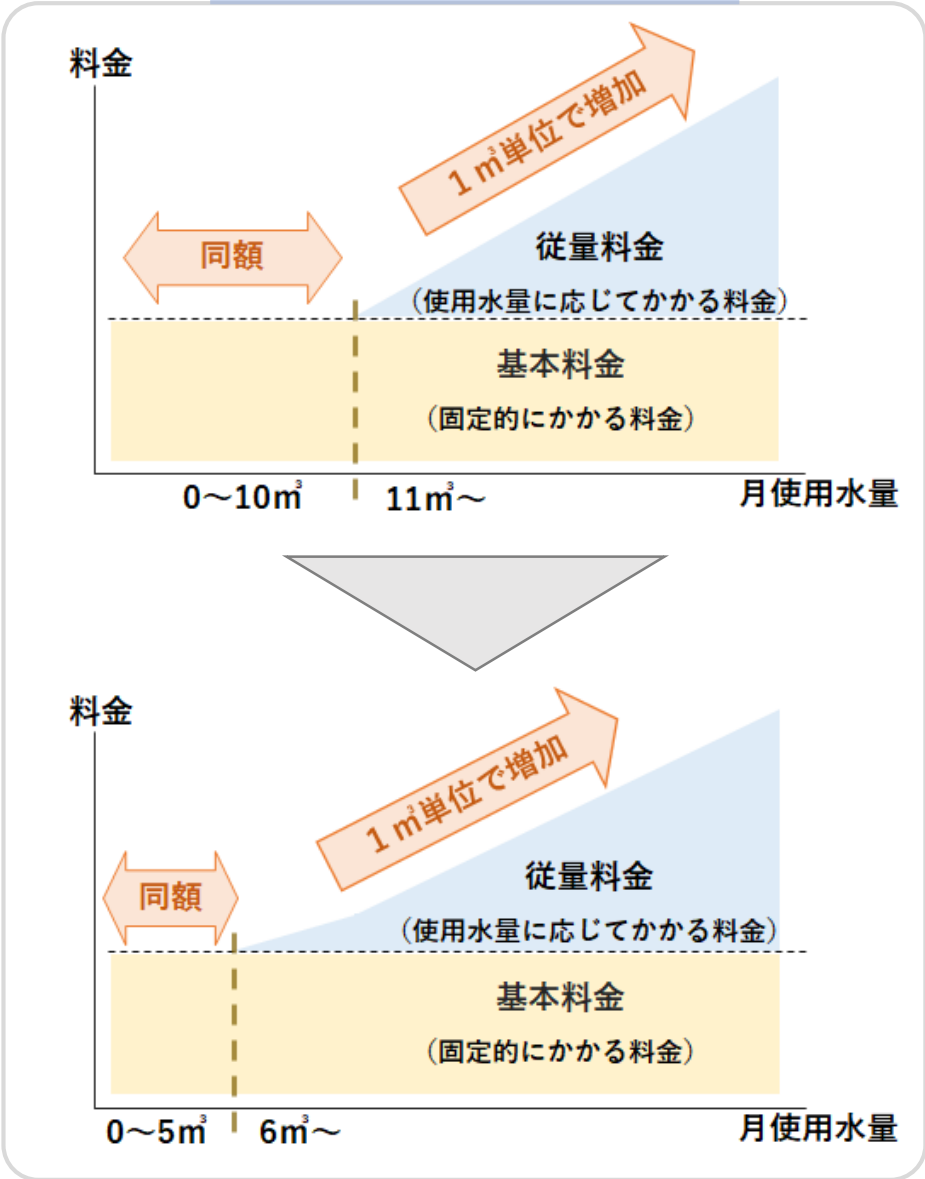
■ 逓増制

小口利用者と大口利用者の負担の公平性を考慮し見直していく
(逓増制の緩和)

■ 基本料金と従量料金のバランス

水需要の減少(従量料金の減少)を考慮し、**基本料金の割合を**高めていく

基本水量の引下げイメージ



水道料金表（1か月）

基本料金（税抜）			
メーターの 口径	現行	新料金	差額
20mm以下	880	960	(+80)
25mm	1,700	2,200	(+500)
40mm	4,500	6,200	(+1,700)
50mm	8,800	12,100	(+3,300)
75mm	21,700	30,800	(+9,100)
100mm	41,000	61,300	(+20,300)
150mm	106,000	151,500	(+45,500)
200mm	212,000	338,900	(+126,900)

従量料金（税抜） ※ 1 m ³ につき				
用途	水量区分	現行	新料金	差額
一般用	～5（口径20mm以下）	基本料金内	基本料金内	－
	6～10（口径20mm以下）	基本料金内	10	(+10)
	11 ～ 20	145	165	(+20)
	21 ～ 30	155	180	(+25)
	31 ～ 60	215	225	(+10)
	61 ～ 100		245	(+30)
	101 ～		285	(+35)
業務用	～5（口径20mm以下）	基本料金内	基本料金内	－
	6～10（口径20mm以下）	基本料金内	10	(+10)
	11 ～ 20	180	190	(+10)
	21 ～ 30		205	(+25)
	31 ～ 60		260	(+30)
	61 ～ 100	265	295	(+30)
	101 ～ 300	290	325	(+35)
	301 ～ 1,000	330	365	(+35)
	1,001 ～	360	395	(+35)

※口径25mm以上の利用者の方は、10m3以下の従量料金には「11～20m3」区分が適用されます

基本料金（税抜）			
メーターの 口径	現行	新料金	差額
20mm以下	1,760	1,920	(+160)
25mm	3,400	4,400	(+1,000)
40mm	9,000	12,400	(+3,400)
50mm	17,600	24,200	(+6,600)
75mm	43,400	61,600	(+18,200)
100mm	82,000	122,600	(+40,600)
150mm	212,000	303,000	(+91,000)
200mm	424,000	677,800	(+253,800)

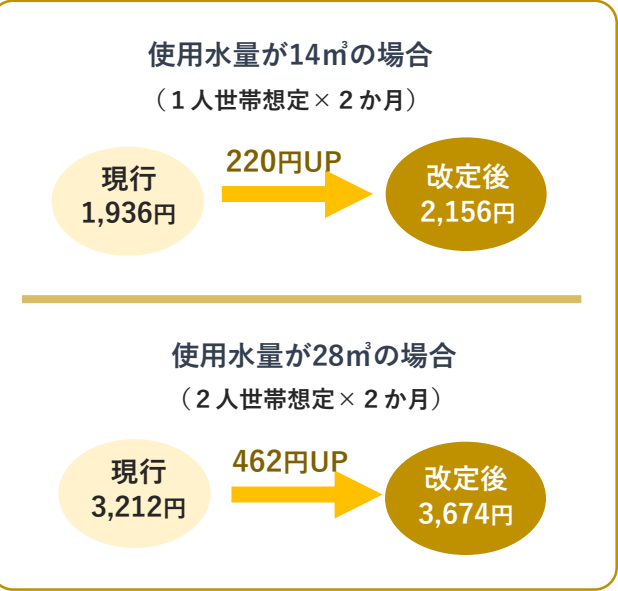
従量料金（税抜） ※ 1 m ³ につき				
用途	水量区分	現行	新料金	差額
一般用	～10（口径20mm以下）	基本料金内	基本料金内	－
	11～20（口径20mm以下）	基本料金内	10	(+10)
	21 ～ 40	145	165	(+20)
	41 ～ 60	155	180	(+25)
	61 ～ 120	215	225	(+10)
	121 ～ 200		245	(+30)
	201 ～	250	285	(+35)
業務用	～10（口径20mm以下）	基本料金内	基本料金内	－
	11～20（口径20mm以下）	基本料金内	10	(+10)
	21 ～ 40	180	190	(+10)
	41 ～ 60		205	(+25)
	61 ～ 120	230	260	(+30)
	121 ～ 200	265	295	(+30)
	201 ～ 600	290	325	(+35)
	601 ～ 2,000	330	365	(+35)
	2,001 ～	360	395	(+35)

※口径25mm以上の利用者の方は、20m3以下の従量料金には「21～40m3」区分が適用されます

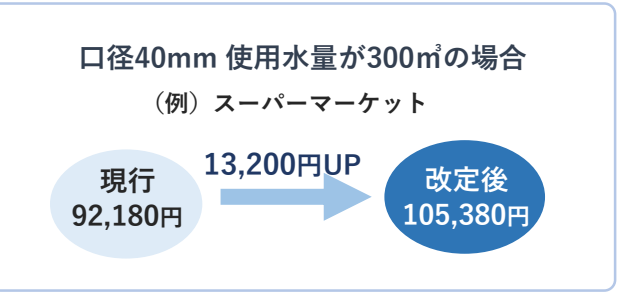
(1戸1か月)(単位:円・税込)		イメージ	現行	新料金	差額
一般用	20mm-7m³	1人世帯	968	1,078	+110
	20mm-14m³	2人世帯	1,606	1,837	+231
	20mm-21m³	3人世帯	2,733	3,124	+391
	20mm-28m³	4人世帯	3,927	4,510	+583
	20mm-35m³	5人世帯	5,450	6,143	+693
業務用 (口径別代表例)	25mm-40m³	飲食店	10,340	11,715	+1,375
	40mm-150m³	スーパーマーケット	46,090	52,690	+6,600
	75mm-900m³	工場、ホテル	330,660	374,275	+43,615

1回の検針(2か月)
の影響額は…

一般用(メーター口径20mm)の例



業務用の例



※一般用は、水道使用量を1人あたり230ℓ/日とした場合の一例です(2022年度 家庭用平均使用水量)
業務用は、各口径の平均的な使用水量で計算した一例です
※世帯人数、使用水量はイメージであり、実際の使用水量に応じて料金が変わります
※上記例には、下水道使用料は含まれておりません

一般のご家庭（メーター口径20mm）が、
2 か月で28m³使用した場合の料金の計算方法は、以下のとおりです。

現行

基本料金 ▶ 880円/月 × 2 か月 = 1,760円

従量料金 ▶ 0円/m³ × 20 m³ = 0円
145円/m³ × 8 m³ = 1,160円

2,920円 × 1.1

= 3,212円

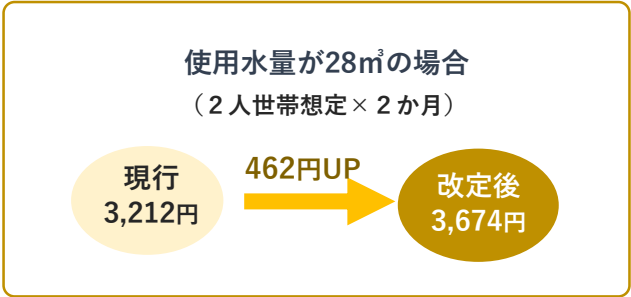
新料金

基本料金 ▶ 960円/月 × 2 か月 = 1,920円

従量料金 ▶ 0円/m³ × 10 m³ = 0円
10円/m³ × 10 m³ = 100円
165円/m³ × 8 m³ = 1,320円

3,340円 × 1.1

= 3,674円



基本料金（税抜、2 か月）		
メーターの口径	現行	新料金
20mm以下	1,760	1,920

従量料金（税抜、2 か月）※ 1 m ³ につき		
水量区分	現行	新料金
～10（口径20mm以下）	－	－
11～20（口径20mm以下）	－	10
21 ～ 40	145	165
41 ～ 60	155	180
61 ～ 120	215	225
121 ～ 200	215	245
201 ～	250	285

水道代 ▶ 10,000円 + 1,420円(14.2%増分) = 11,420円 ?

水道料金・下水道使用料早見表

一般用

口径20mm以下
[1戸2か月分]

水量	水道 料金	消費税 相当額	下水道 使用料	消費税 相当額	合 計	水量	水道 料金	消費税 相当額	下水道 使用料	消費税 相当額	合 計	水量
	円	円	円	円		41	5,296	481	3,630	330	8,926	76
0~10	1,936	176	1,100	100	3,036	42	5,467	497	3,740	340	9,207	77
						43	5,637	512	3,850	350	9,487	78
						44	5,808	528	3,960	360	9,768	79
						45	5,978	543	4,070	370	10,048	80
11	1,936	176	1,122	102	3,058	46	6,149	559	4,180	380	10,329	81
12	1,936	176	1,144	104	3,080	47	6,319	574	4,290	390	10,609	82

約1万円の利用者は、2か月で『45m³』使用しています。

うち、水道料金が 5,978円 下水道使用料が 4,070円 です。

今の水道代は1万円くらいのイメージです。いくらになりますか？

14

2か月の使用水量 45m³

(2か月(税込))

現行 5,978円 $\xrightarrow{864\text{円UP}}$ 改定後 6,842円



下水道使用料
4,070円



上下水道代
10,912円

現行

基本料金 ▶ 880円/月 × 2か月 = 1,760円

従量料金 ▶
0円/m³ × 20 m³ = 0円
145円/m³ × 20 m³ = 2,900円
155円/m³ × 5 m³ = 775円

5,435円 × 1.1
= 5,978円

新料金

基本料金 ▶ 960円/月 × 2か月 = 1,920円

従量料金 ▶
0円/m³ × 10 m³ = 0円
10円/m³ × 10 m³ = 100円
165円/m³ × 20 m³ = 3,300円
180円/m³ × 5 m³ = 900円

6,220円 × 1.1
= 6,842円

水道局のホームページでは、簡単に水道料金の計算ができる「**新料金計算ツール**」が使用できます

① メーター口径と、使用水量を入力

メーター口径 mm

使用水量 m³

② 改定前との差額を表示

	水道料金	下水道使用料	合計（税込）
改定前	1,936円	1,188円	3,124円
改定後	2,156円	1,188円	3,344円
改定による差額	220円	0円	220円

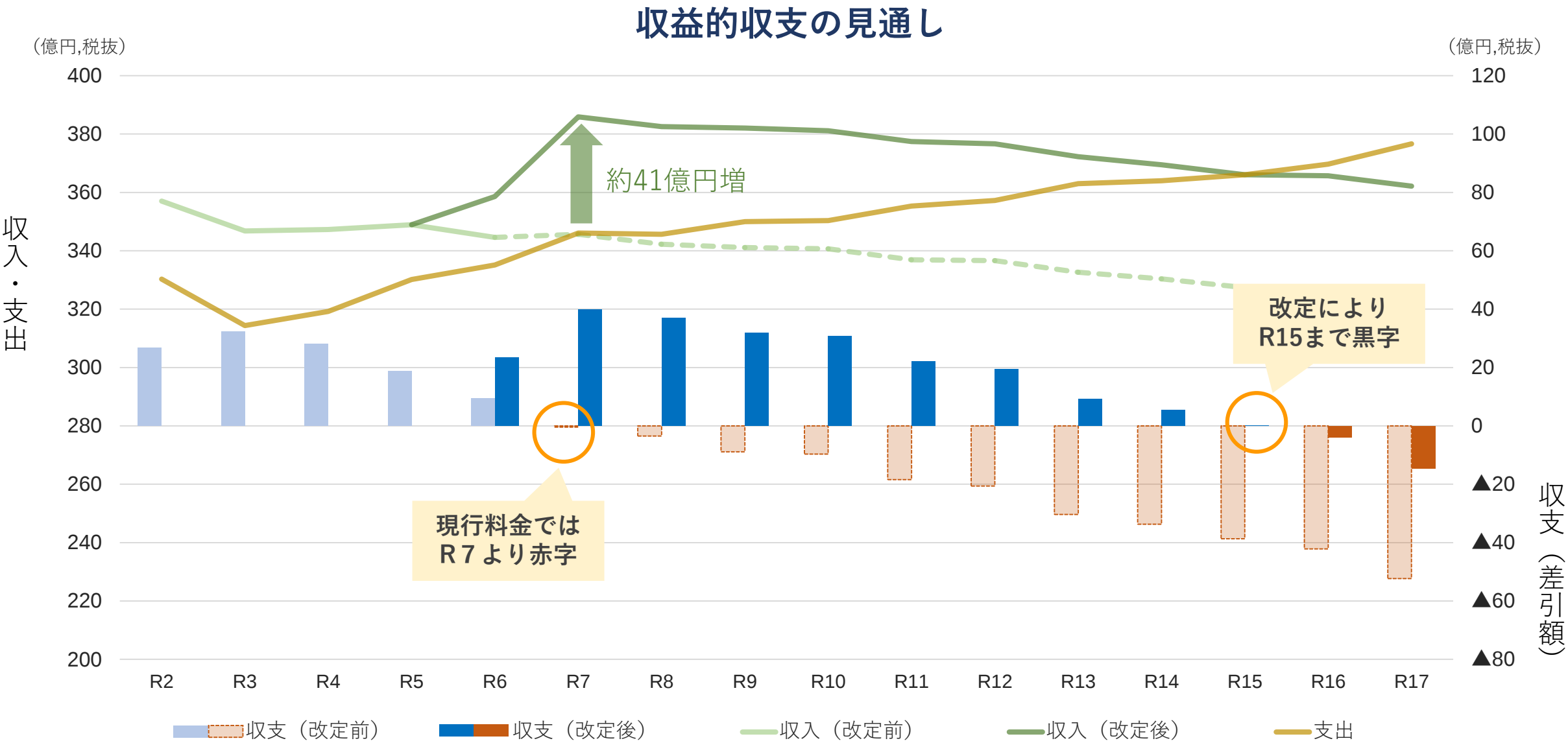
以下の水道局ホームページにて、ご確認ください

<https://kobe-wb.jp/ryoukin/keisan2/>



神戸市水道局 新料金計算ツール

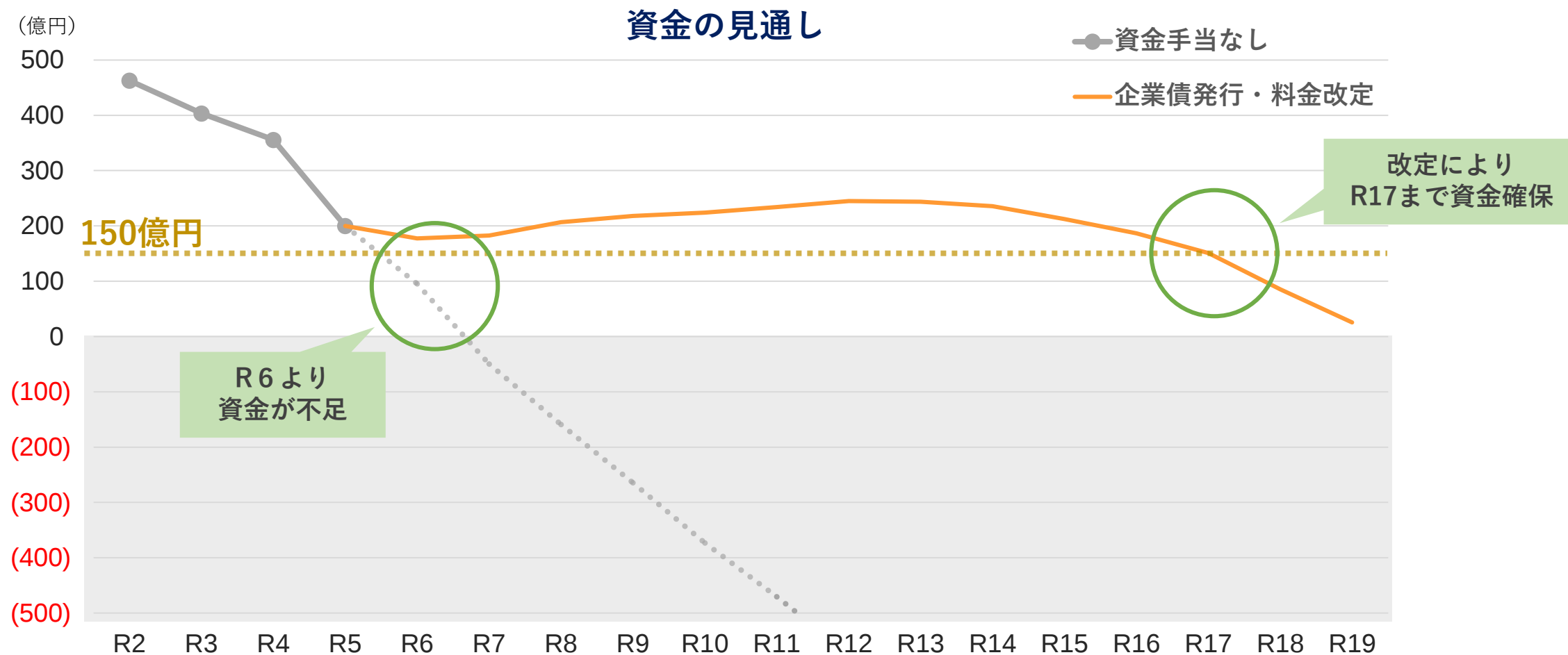
検索



令和6年度から企業債発行及び料金改定を行うことで、

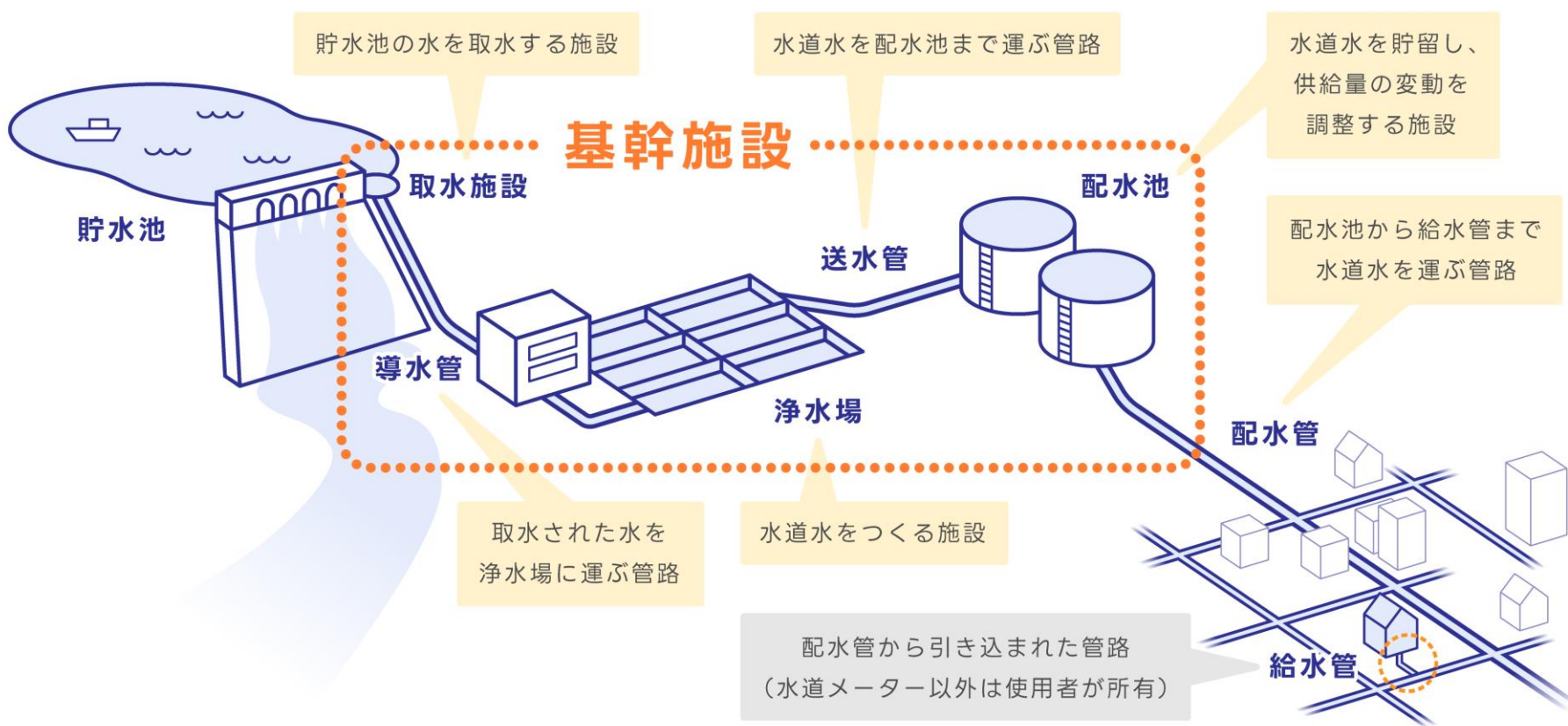
令和17年度（12年間：中期計画期間4年間×3期）まで必要資金額150億円を確保できる

日々の運転資金及び突発的な資金需要に備えるために必要な資金

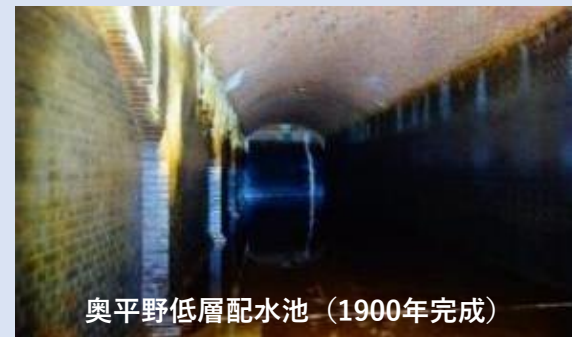


安全で良質な水を安定的にお届けするために様々な水道施設が必要です。

水道施設のうち大規模な水の輸送機能を受け持つ重要な施設(**基幹施設**)を計画的に更新します。



基幹施設の更新予定例



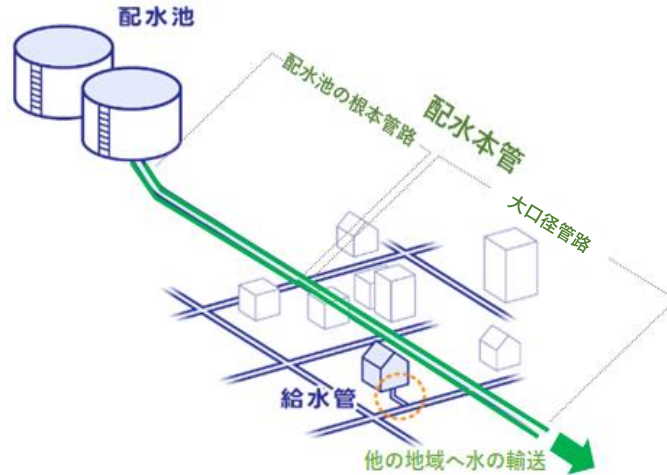
高度経済成長期に布設し、老朽化している配水管の更新・耐震化を進めます。

○更新を優先する配水管

①配水本管

〈配水池根本管路、大口径管路〉

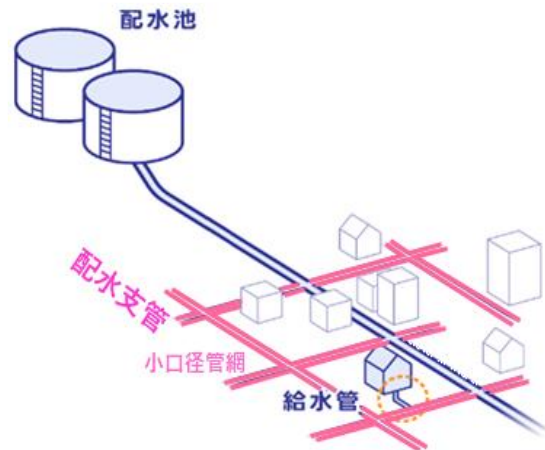
- 災害や事故時に断水や赤水が発生すると、利用者への影響が非常に大きい(範囲が広い・復旧までの期間が長い)ため、優先して更新します。



②配水支管

〈給水拠点に至るルート of 配水管〉

- 災害時に避難所となる小学校や病院など重要な給水拠点に至るルートの更新・耐震化を優先して進めます。



耐震化施策の指標	2023 (R5)	2035 (R17予定)
浄水施設の耐震化率	23%	53%
配水池の耐震化率	84%	88%
基幹管路の耐震適合率	75%	86%

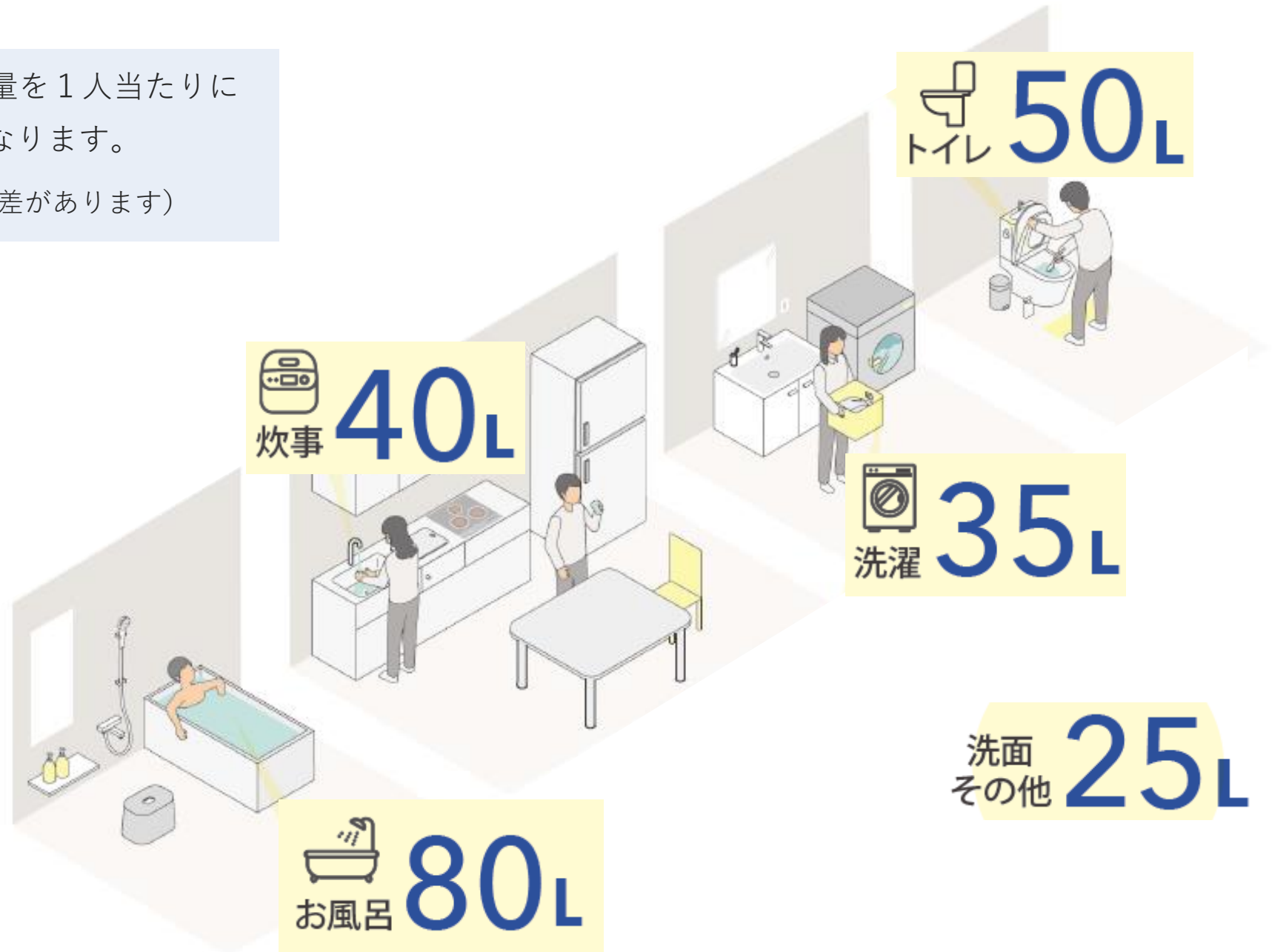
参 考

1日当たり水道水はどれくらい使われていますか？ 何に使われていますか？

22

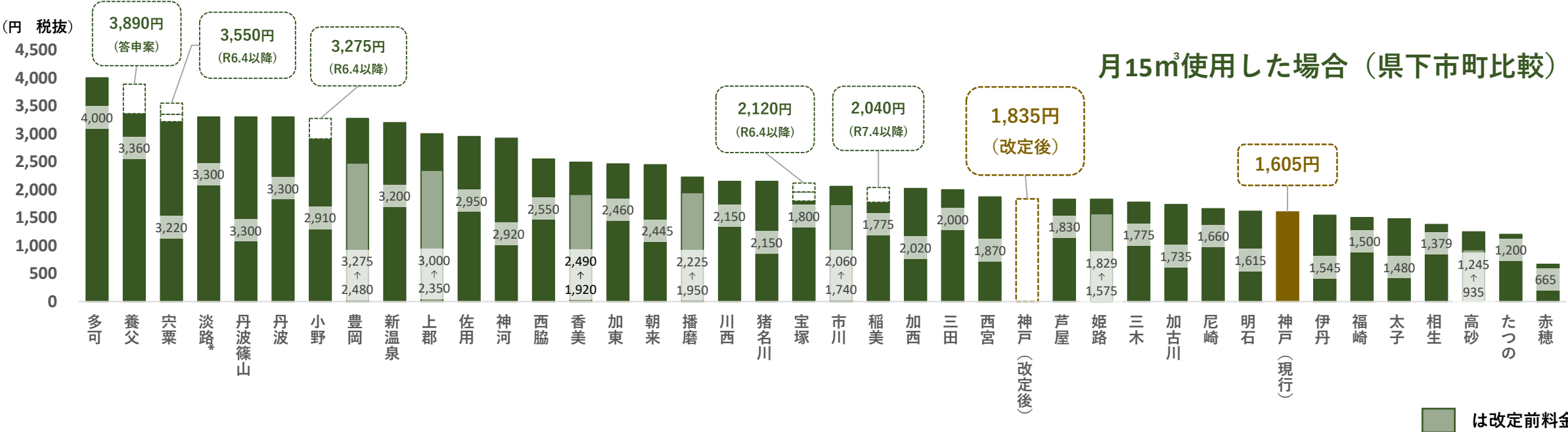
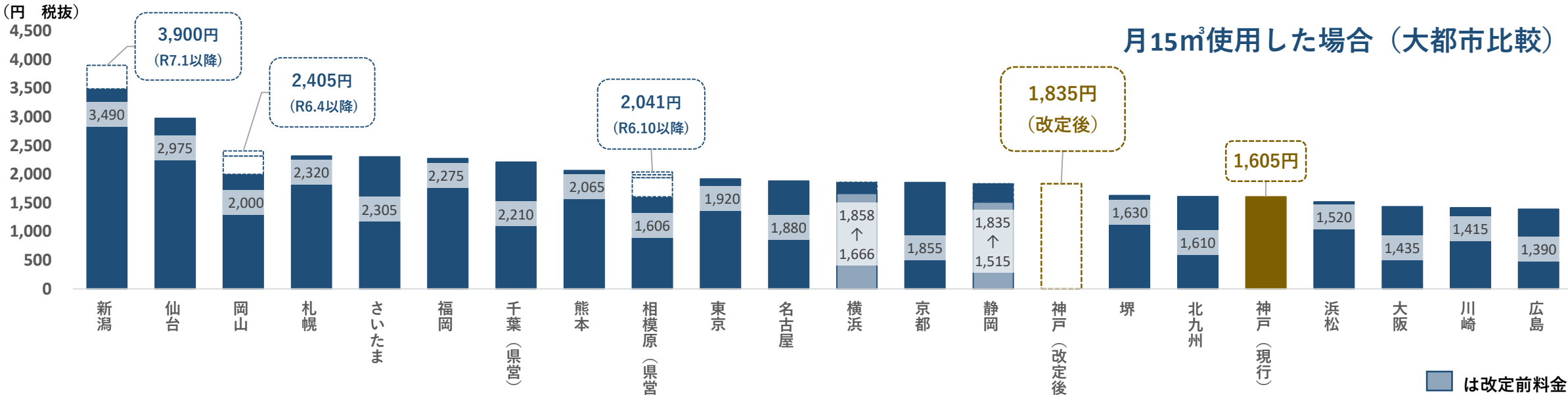
家庭内で1日に使用する水量を1人当りに換算すると、約230Lになります。

(使用する頻度や水量には個人差があります)



神戸市の水道料金は他都市比べて高いですか？【一般(家事用)口径20mm 1か月当たりの料金】

23



なぜ、神戸市の水道施設数が多いのでしょうか？

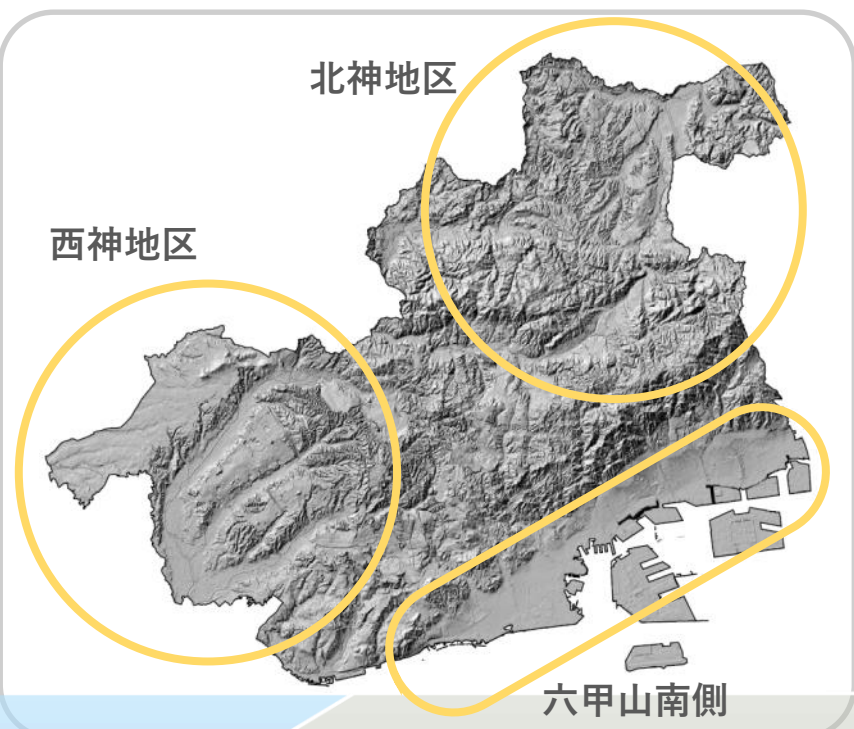
24

神戸水道の特徴

適切な水圧で給水するためには、約30m以上高い位置の配水池から水を送る必要があります

高低差に富む神戸市では、**配水池が多く必要**になります（政令指定都市で1番多いです）

高い位置の配水池には、ポンプで水を送っています



神戸の起伏 ※出典：国土地理院「陰影起伏図（H29.3提供）」

配水池：**127**か所

ポンプ場：**48**か所

（令和4年度末）

